

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	術後長期経過からみた斜視の病因の考察
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 初川嘉一 ・眼科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	無作為に抽出された内斜視 20 例、外斜視 20 例、上下斜視 25 例および輻輳麻痺と開散麻痺各 1 例ずつ
研究期間	研究実施許可後～2020年3月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	<p>目的:</p> <p>斜視は病因が必ずしも解明されていないために、治療上の混乱を生じている場合があります。Adlerは斜視の病変部を核上性と核または核下性に分類し、水平斜視は前者、上下斜視は後者に所属すると考察しました。Adlerのこの説はこれまで確認されて来ませんでしたが、これまでの症例の術後長期経過を診療録から再検討し、Adlerの説の正当性を確認し、水平斜視の病変部を推測することにしました。斜視の病因を明らかにすることにより、斜視の治療成績を向上させたいと考えています。</p> <p>方法:</p> <p>診療録を再検討します。術後の長期経過については、経過期間中の眼位の変動について検討します。眼位は交代プリズムカバーテストによって測定され プリズムデオプターで数値化します。経過観察中の眼位の変動を数値とグラフで比較します。</p> <p>輻輳麻痺と開散麻痺の各1例は、視力、眼位、眼球運動、両眼視について診療録の内容を確認します。</p>
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	<p>情報はすべて診療録の中のものを使用します。</p> <p>術後の眼位の変動を数値とグラフで比較します。</p> <p>患者 ID、発症時の年齢、視力、眼位、眼球運動、MRI 画像が使用されます。個人情報 は匿名化して扱います。</p>

研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の問合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 眼科 初川嘉一 電話 0725-56-1220 (代表) 内線 7325